

2024年度 新潟大学出前講義一覧

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)		職名	教員氏名	対応可能時期	対面	オンライン (Zoom)
				講義概要						
創生学部	1	全学年	融合的な課題探究・解決型学習	探究的な学びから、大学での研究への接続	◆「総合的な探究の時間」を対象として、創生学部で実施している「探究テーマの発見・設定」「探究の手法」「成果のまとめ」など、社会的課題の取り組み方々、文理融合的な課題解決型学習のプロセスを解説し、その目的を明確にするとともに、探究の実証方法・評価方法などについて考察する。(教職員対象の研修も可)	教授	田中 一裕 (他:創生学部担当教員)	応相談	○	○
	2	全学年	教育学、脳科学、心理学	大学では何をどのように学ぶのか？(学ぶ興味・関心を喚起する)	◆大学で学ぶ内容や方法について具体的に紹介するとともに、学ぶことの目的や意義を示す。大学での学びが、高等学校までの基礎的な学習の延長であり、それぞれの知識の中に多くの研究者の知への探求の積み重ねがあることを学ぶ。歴史的な科学者の発見から現代の学問の最先端を俯瞰し、グループワークなどを通して、脳科学・心理学的側面から学びを科学的に考察する。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
	3	全学年	情報工学、脳科学、心理学、教育学	コンピュータに心は宿るか？(心とは、意識とは何か)	◆AIの進化が続き、大量のデータ処理から最適解を見つけ出す作業は、AIに取って代わっている。このままAIが進化した場合、AIの中に心や意識は宿る日があるのか。そもそも私たちの心、意識とは何か。自らの内面を見つめ直しながら、最新脳科学・心理学・哲学の側面から、グループワークなどを通じて心・意識とは何かを探究する。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
	4	全学年	情報工学、脳科学、心理学、教育学	私たちの意思決定メカニズム(心はどのように決めているのか？)	◆進路決定や職業決定など、これから多くの大切な意思決定をおこなう場面に直面する。自らの内面を明らかにし、選択肢をしっかりと定め、評価基準を確定することで、意思決定が可能となる。グループワークなどを通して、意思決定に必要な考察力を探究させる。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
	5	全学年	政治学、主権者教育、情報リテラシー	主権者としてのリテラシー獲得(意思決定力の向上)	◆フェイクニュース・デープフェイクが世論操作へと大きな影響力を持ち、デジタルポピュリズムが進んでおり、18歳選挙権導入後、早急な主権者としてのリテラシー獲得が求められている。溢れる情報のなか、次の社会を担う意思決定力の獲得のために、模擬投票・模擬議論・リアル投票・リアル議論を通じた考察をおこなう。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
	6	全学年	金融教育、キャリア教育、経済学	新しい金融知識をもった高校生になるために(キャリア形成と金融)	◆仮想通貨(暗号通貨)の登場で、金融を巡る情勢は一変している。世界の金融と仮想通貨を巡る新しい金融システムと私たちの暮らしについて考察する。また一人の高校生が成人までにかかる費用は1000万円を超えるという統計結果から、自らの成長やキャリア形成に注目し金融面でも振り返る。またグループワークなどを通して、将来のキャリア形成の重要性を確認し、自己実現のための計画を立案することから、金融に関する知識を構築していく。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
	7	全学年	防災教育、キャリア教育	災害弱者を守るためには(避難所設置シミュレーション)	◆災害発生時には、学校に避難所が設置される。避難してきた多様な住民が安全・安心に過ごすことができる避難所の設置はどうか。子どもや高齢者、病気が障がいを持つ人、外国籍の人など、多様な属性を持つ避難者を、高校生が設置者として避難所内のどこに配置するのかが決めていくシミュレーションをグループワークなどを通して学習する。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
	8	全学年	情報リテラシー教育、情報工学、心理学	フェイクに立ち向かう情報リテラシー(情報トラブルへの備え)	◆近年の情報デバイスやアプリの進化により、高校生を巻き込むトラブルが増えている。LINE、Facebook、X(Twitter)など被害の実例から、深刻なトラブルに発展する前に立ち止まる行動を取ることができるように、またフェイク情報に対するリテラシー獲得のために、グループワークなどを通じて、体験させる学習をおこなう。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
	9	全学年	情報工学、経営学	ビックテック(M・GAFA)の世界戦略と未来の社会(デジタル独占時代)	◆GIGAスクール構想の進展で、教育においてもビックテックによるシェア争いが激化している。Microsoft、Google、Apple、Facebook、Amazonの世界企業が、デジタル分野のみならず、生産・流通・販売まで大きく変革を生み出し、人々の生活や行動様式まで変化を与えている。AIを最大限に応用したビックテック(M・GAFA)の世界戦略を分析し、未来の社会の変化を予想するとともに、未来で生き抜くために求められるリテラシーを考察する。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
	10	全学年	国際理解教育、異文化理解教育	世界の食習慣から異文化を理解する	◆世界の多様な文化・宗教・民族などの理解を深めるために、世界の食習慣から異文化理解をすすめる。また、日本国内における多文化共生地域の事例からこれからの多様化する社会を考察する。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
	11	全学年	融合的な課題探究、解決型学習評価、統計学	人間社会科学分野におけるデータサイエンスの応用	◆「総合的な探究の時間」を対象として、社会的課題への探究の実証方法・評価方法などについて焦点を当て、量的分析・質的分析などの基礎的な理解と、その応用方法について、実例を交えながら考察する。(教職員対象の研修も可)	教授	田中 一裕	応相談	○	○
	12	全学年	DX、STEAM教育、ICT、デジタル、融合的な課題探究・解決型学習、教員研修	DXで何ができるか？入門から応用まで	◆文科省の高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)が始まるなど、デジタルやICTを活用した文理横断的・探究的な学び、またSTEAM教育の環境整備が進められている。DXで何ができるのか、どう進めていくか、など、入門的な部分から講義する。(教員研修も可能)	教授	田中 一裕 熊野 英和	応相談	○	○
	13	全学年	経営学(経営組織論)	マンガ「ワンピース」に学ぶ経営学～経営組織論の視点から～	◆人気マンガ「ワンピース」は大海原を冒険する仲間たちの物語です。登場人物たちの「仲間」としての行動を経営学の視点から読み解くことで、私たちがこれからの社会を逞しく生き抜くヒントを探ります。	准教授	堀籠 崇	応相談	○	○
	14	全学年	経営学(経営戦略論)	経営戦略論の恋愛講座	◆「思いを寄せるあの人と仲良くなりたい！」誰もがそんな経験をしたことがあると思います。この講義では、皆さんにとって身近な「恋愛」を舞台に、戦略分析のフレームワークを用いて考え、課題解決の学問である経営戦略論の基礎を学びます。	准教授	堀籠 崇	応相談	○	○

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)		職名	教員氏名	対応可能時期	対面	オンライン (Zoom)
				講義	概要					
創生学部	15	全学年	分野横断型課題探究 経営学(医療経営学)	金は命より重い!～医療経営学で考える～		准教授	堀籠 崇	応相談	○	○
				◆一般に「経営＝金儲け」「医療＝(命を救う)聖なるもの」という、一見すると相容れないイメージがあるかもしれませんが、この講義では「医療」にまつわる問題を「経営学」の思考枠組みで読み解く「医療経営学」のエッセンスとその意義についてわかりやすく解説します。						
	16	全学年	分野横断型課題探究 経営学(地域経営学)	最高の地元の見つけ方～課題探究入門～		准教授	堀籠 崇	応相談	○	○
				◆近年課題探究の学びは、高等学校においても展開されるようになってきました。本講義では地域課題をテーマに課題探究学習の一連のプロセスを体験します。地域資源を活かして、地元を楽しむ方法について一緒に考えてみませんか。						
	17	全学年	生態学、農学	打たれ強い農業～生物多様性を活かした害虫管理は可能か		准教授	小路 晋作	応相談	○	○
				◆農地に棲む生きものたちの「機能」を活かした害虫管理法は、紀元前から世界各地で試みられてきました。アフリカの事例を中心に、保全型害虫管理の最前線を紹介いたします。						
	18	全学年	科学技術史	NASAとはどんな組織か		教授	佐藤 靖	応相談	○	○
				◆アメリカ航空宇宙局(NASA)は、半世紀前にアポロ計画を実施し、有人月面着陸を達成した。NASAとはどのような組織なのか。その業績を振り返る。						
	19	全学年	課題探究 (理系視点)	自然科学研究のいろは		教授	熊野 英和	応相談	○	○
				◆自然科学の基本的な方法論や意義、またその魅力を考えながら、探究活動のテーマ設定や課題の見つけ方、深め方を考えます。						
	20	全学年	データサイエンス	実践! データサイエンス入門		教授	熊野 英和	応相談	○	○
				◆データサイエンスの重要性が増してきています。データをどう得るのか、扱うのか、そしてそこから何が分かるのか? 高校生の皆さんにも身近な数値データとテキストデータを用いて、基本の基本を解説します。						
	21	全学年	IoTとデータ計測実演	IoTでデータ計測&処理体験		教授	熊野 英和	応相談	○	○
				◆IoT技術の進展により、全てのモノがネットワークに繋がる時代となりつつあります。本講義では、消しゴム大のIoTツールを使って、データがどのように計測・伝送され、我々の生活を支えているのか、実際に体験してみます。						
	22	全学年	地理情報システム (GIS)	GISで街の様子を可視化してみよう!		教授	熊野 英和	応相談	○	○
				◆地理総合でGISを扱いますね。身近な例として、タウンページに掲載されている地球のデータを使って、例えばコンビニの分布はどうなってる? など、皆さんの街の様子を無料のPC用GISソフト(QGIS)を使って可視化します。						
23	全学年	機械学習(実践編)	機械学習を体験してみよう!		教授	熊野 英和	応相談	○	○	
			◆もう日常的に使われるようになった機械学習ですが、その中には多くの数学的成果が凝縮されています。実際のモノを動かして簡単な実演を交えながら、機械学習のしくみをわかりやすく解説します。							
24	全学年	量子コンピュータ	こびと達の不思議なトランプと量子計算		教授	熊野 英和	応相談	○	○	
			◆規模はまだ小さいものの、究極の計算能力を秘めた量子計算がクラウドで使えるようになってきているのはご存じですか? こびと達のマイクロ世界のトランプを使って、その基本的な動作のしくみを講義します。							
25	全学年	情報リテラシー、人工知能、自然言語、情報工学、教員研修	生成AI・ChatGPTをどう使うか?		教授	熊野 英和 田中 一裕	応相談	○	○	
			◆生成AIの現状と問題点について、実際に生成AIを動作させながら具体的な事例を交えて講義する。生成AIの潜在的な可能性と同時に、現状の課題についても理解を深める。(教員研修も可能)							
26	全学年	人間科学	2つの「たんきゅう(探究/探求)」を考える		准教授	澤邊 潤	応相談	○	○	
			◆モノ・コトがあふれる時代における将来の自分の生き方についてイメージしていただきます。課題を突き詰める「探究」と自分自身の「探求」の2つの関係について生徒自身が考える講義です。							
27	全学年	人間科学	大学生は地域とどう向き合っているのか?		准教授	澤邊 潤	応相談	○	○	
			◆「地域創生」「地域活性化」など地域と関わる活動が増えています。本講義では、大学生が地域と関わり、実践(失敗)している事例を紹介しながら、地域との関わりを考えます。							
28	全学年	心理学	心の科学入門		准教授	並川 努	応相談	○	○	
			◆「心」について、科学的にとらえるとはどういうことなのか。心理学の研究例などを紹介しながら、考えてみたいと思います。要望や受講人数等に応じて、簡単な実験・実習的な要素を入れて行うことも可能です。							
29	全学年	租税法	消費税の仕組みの裏側		教授	藤巻 一男	応相談	○	○	
			◆消費税は、その税收安定性等から社会保障の財源として注目されるようになり、その地位も高まってきました。講義では、消費税の計算の仕組みを通常とは異なる視点からとらえ、その意外な特徴と問題点を紹介します。							
30	全学年	メディア論	モバイルニュースを考える		教授	中村 隆志	応相談	○	○	
			◆ちょっとした空き時間に、ふとスマホのニュースを見たことがある人も多いでしょう。大変身近になったこの行為を題材に、現在のメディア状況について考えましょう。							
31	全学年	メディア論	非言語コミュニケーション (スマホ編)		教授	中村 隆志	応相談	○	○	
			◆私たちは、身体を通して、常に周囲とコミュニケーションしています。実に窮屈ですが、でも、割と自由です。そんな非言語コミュニケーションについて解説しましょう。							
32	全学年	動物心理学、比較認知科学	動物の行動から心理を考える		准教授	高橋 宏司	応相談	○	○	
			◆ヒトが心をもつように、動物たちにも心と思われるものがあります。動物たちがその生活の中でとる行動から、ヒトの心を見つめ直す機会を提供します。							
33	全学年	水産学、魚類行動学	魚の気持ちとヒト社会		准教授	高橋 宏司	応相談	○	○	
			◆食用、鑑賞、レジャーの対象として、人間社会と密接なつながりがある魚たち。そんな魚の心理学が人間社会に役立つ可能性について紹介いたします。							